

繁殖力旺盛で丈夫な、野性的な宿根草。

< 植物名 >

ルドベキア

ゲ'ロリオサテ'-ジ'-, オオハンゴンソウ

総称

水やり

鉢植えの場合は鉢内の土が乾きやすいため、こまめな水やりをする。

置き場所

日なたを好む。

用土肥料

水はけのよい用土を好む。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

挿し木、タネまき

冬越し

特記事項なし。

使い方 ワイルドフラワー、花壇、コンテナ、切り花

学名 Rudbeckia

英名

属名 オオハンゴンソウ

科名 キク

性状(分類) 春まき一年草、多年草

原産地 北アメリカ

花の色 オレンジ、黄

開花期 7～9月

購入時期

草丈 30～90cm

ID 960

季節 夏 秋

JFコード 14431



冬越しと置き場所

日なたと水はけのよい用土を好む。長雨に当たると、べと病が発生しやすい。

その他の解説

晩春～初夏にかけて、茎の途中に出来た新芽を使って挿し木をする。一年性種のタネまきは春が適期。

特徴1

北アメリカ原産のとても丈夫な一年草または多年草。日なたと水はけの良い用土で育て、長雨に当たらないよう注意する。

特徴2

丈夫な草花で、こぼれダネで毎年楽しめる。各地で野生化しているほど、繁殖力旺盛で丈夫。草丈の高い種類は、ボーダー花壇の背景に最適。八重咲きの"ゴールドングロー"や、矮性の"ゴールドドロップ"、最近発売された"タカオ"などが作りやすい品種。一年生種は高温多湿を好むが、宿根種は高温多湿に強く、土質を選ばずに育つ。